

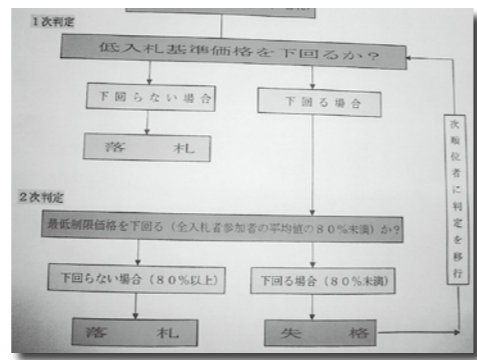
入札最低制限価格の変更は

三村理事 **A** 今の制度は変えない

問 工事予定価格を事前公表するのはどういった考か。事後公表にすべきでは。

答 事前公表により、予定価格を探る行為など不正行為の防止が可能になり、入札の透明性、公平性が確保できる。

問 応札業者が一人だけの入札が年に何件かある。しかも、その落札率は極めて高い。予定価格が目安になり、積算を合わすことが可能である。価格を伏せることで、業者の本気度がわかるのでは。



▲変動型最低制限価格制度の流れ

問 業者はそれぞれ独自に積算されていると思っ提出されている。積算書の内訳も提出されていて、工事途中に内容を事後確認している。予定価格を目安にということはないと思っ

答 業者はそれぞれ独自に積算されていると思っ提出されている。積算書の内訳も提出されていて、工事途中に内容を事後確認している。予定価格を目安にということはないと思っ

問 低入札基準価格とは。

答 当該契約内容に適合した履行がなされない恐れがあるという意味の価格である。

問 一般的に基準価格を下回れば赤字になる恐れがあるのか。

答 その通りである。

問 それでは地元業者が育成できず、体力勝負になっている。最低制限価格を低入札基準価格まで引き上げるべきと考えるが。

答 この議論はずっと以前からあり、積み重ねて今の制度になっていると理解いただきたい。

その他の質問

▼狭い道の解消を

▼県道平岡別府線の歩道(駅西)は

青雲21 藤原 秀策



道路拡幅と歩道整備を

木村理事 **A** 路線の交通量調査から

問 町内の交通量が多い歩道のない道路や狭い道などは整備が遅れると行政の不作為の責任を問われかねない状況であり、少しずつでも具体的な取り組みが強く望まれるが。

答 安全安心のまちづくりの大きな課題。狭い道は地籍調査の進展から有効な手法を検討し、整備促進計画を策定。計画の根拠となる交通量調査も毎年19の交差点で実施しているが、優先路線を判断する調査も検討する。



▲山陽電車踏切の歩道「安全安心な道路の早急な整備が望まれる」

問 町内の交通量が多い歩道のない道路や狭い道などは整備が遅れると行政の不作為の責任を問われかねない状況であり、少しずつでも具体的な取り組みが強く望まれるが。

答 安全安心のまちづくりの大きな課題。狭い道は地籍調査の進展から有効な手法を検討し、整備促進計画を策定。計画の根拠となる交通量調査も毎年19の交差点で実施しているが、優先路線を判断する調査も検討する。

町長 記念誌を発行する

問 20周年時に発行された『阿閑の里』を50年の歴史を踏まえ増補し、復刻できないか。

答 費用確保は難しい。現にあるものを住民に触れやすい所に配置させる。今回は町勢要覧のような記念誌3千部発行の予定。

新政会 福原 隆泰



指定管理者の暴力団対策は

栢田理事 **A** 暴力団排除条例の準備へ

問 健康いきいきセンターの管理や、暴力団対策に関して、町の姿勢と対策のなさに、強い非難があるが。

答 町としても「暴力団排除条例」の制定などの必要性は認識しており、関係規定の整備に向けて準備を進めていく。

問 警察や防犯協会と協力して、ポスターを貼り、たすきを掛けて啓発ディスプレイの配布など、暴力団排除の行動を起こす決意を住民に示すべきでは。

答 予算の関係もあるが、



公明党代表質問 宮尾 尚子



▲指定管理されている健康いきいきセンター

問 健康いきいきセンターの管理や、暴力団対策に関して、町の姿勢と対策のなさに、強い非難があるが。

答 町としても「暴力団排除条例」の制定などの必要性は認識しており、関係規定の整備に向けて準備を進めていく。

問 いきいきセンターなどは住民財産である。今後の「児童保育事業健全化」のためにも指定管理者の評価を住民に公表すべきではないのか。

答 児童保育指導員の再雇用はどうか。

問 第三者機関を設けるなど、民間評価機関を制度化しないと、管理運営の透明化が疑問視されるのでは。また、指定管理者の裁量が大きくなるのでは。

答 事業内容、事業報告書などを提出させている。それを検討し、改善すべき点を洗い出している。民間評価機関の制度化については、具体的な方策は持っていない。

小中連携教育の推進は

教育長 **A** 教育の重点施策のひとつ

問 中学校入学後、不登校などが増加するのは、学校生活の急激な変化などの影響があるとされ「中一ギャップ」といわれる。

答 小中連携教育は変化を緩和し、学習指導上の効果も期待できるとして全国的に促進策の議論がされている。本町での取り組みと成果は。

問 兵庫型教科担任制、小学校外国語活動と中学校英語の連携、中学校教師による小学校の給食時間と成果は。

答 兵庫型教科担任制、小学校外国語活動と中学校英語の連携、中学校教師による小学校の給食時間と成果は。



青雲21 岡田 千賀子



▲播磨南小学校1年生の活発な授業風景

問 中学校入学後、不登校などが増加するのは、学校生活の急激な変化などの影響があるとされ「中一ギャップ」といわれる。

答 小中連携教育は変化を緩和し、学習指導上の効果も期待できるとして全国的に促進策の議論がされている。本町での取り組みと成果は。

問 兵庫型教科担任制、小学校外国語活動と中学校英語の連携、中学校教師による小学校の給食時間と成果は。

答 兵庫型教科担任制、小学校外国語活動と中学校英語の連携、中学校教師による小学校の給食時間と成果は。

問 連携教育における課題と対応策は。

答 教師の意識改革と教職員間の打ち合わせや連携のための時間確保が課題となっている。

問 対応策として、研修会や時間確保のための業務改善を図っていききたい。

その他の質問

▼新学習指導要領の取り組みについて

▼通学路の安全確保を

▼町制50周年記念事業は